

第2学年 国語科学習指導案

書式は学校の指定に合わせて調整してお使いください。

日 時 令和 年 月 日 () 第 校時
場 所
指導者

1 単元名

「じゅんじょに 気を つけて 読もう」 教材名「たんぽぽの ちえ / 【じょうほう】じゅんじょ」

2 単元の目標

共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（〔知識及び技能〕(2)ア）

時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（C(1)ア）

たんぽぽの変化を、時を表す語と各時期の様子から捉える学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）	①「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア）	①たんぽぽの変化を、時を表す語と各時期の様子から捉える学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

4 指導上の考察

（1）単元について

たんぽぽの変化を、時を表す語と各時期の様子から捉える。この教材では、時間の順序と様子に対応させた読みの記録を残し、言葉をどう使ったか、どう捉えたかが分かるようにする。

（2）児童について

（学級の子どもの様子を先生が書く）

（3）指導について

時期と特徴の対応を図にする。知っている植物の知識は別欄にし、文章から分かったことと混ぜない。想定する難しさは、違う時期の特徴を一緒にして説明する。評価では、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えているかを、時間の順序と様子に対応させた読みの記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

5 指導と評価の計画（全10時間）

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○教材と学習に使う言葉を確認、問いについて今の考えを話す。単元の終わりに残す記録を確認、学習の見通しをもつ。	学習状況を見て支援する。
第2次	2～5	○時を表す語を見付けて順に並べ、その時期の様子を説明する文と対応させる。必要な語や材料を集め、関係を整理する。	知①（言葉・文字・資料の扱いを確認める活動）
第3次	6～9 （本時）	○時を表す語を見付けて順に並べ、その時期の様子を説明する文と対応させる。順を入れ替えたメモのどこが本文と合わないかを確認、文章の順序を説明する。	思①（発言・活動中の記録・作成物）
第4次	10	○選んだ言葉と、そこから考えたことの関係を自分の言葉で説明する。異なる考えは根拠を確かめて聞く。学習で確かめたことを別の文章や場面でどう使うかを話す。	態①（学習前後の記録と見直しの理由）



6 本時の指導（6／10）

（１）本時の目標

時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（C(1)ア）

（２）学習過程

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	教材と学習に使う言葉を確認、問いについて今の考えを話す。 ○「この様子は、どの時期のたんぽぽについての説明ですか」 【めあて】たんぽぽの変化を、時を表す語と各時期の様子から捉える。 〈予想される児童の反応〉 ・同じたんぽぽでも時期で様子が違う。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「この様子は、どの時期のたんぽぽについての説明ですか」 時を表す語を見付けて順に並べ、その時期の様子を説明する文と対応させる。順を入れ替えたメモのどこが本文と合わないかを確認、文章の順序を説明する。 選んだ言葉と、そこから考えたことの関係を自分の言葉で説明する。異なる考えは根拠を確かめて聞く。 〈予想される児童の反応〉 ・同じたんぽぽでも時期で様子が違う。 ・時を表す言葉を残すと説明しやすい。	時期と特徴の対応を図にする。知っている植物の知識は別欄にし、文章から分かったことと混ぜない。 想定する難しさ：違う時期の特徴を一緒にして説明する。 評価では、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えているかを、時間の順序と様子を対応させた読みの記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 時間の順序と様子を対応させた読みの記録を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・時を表す言葉を残すと説明しやすい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

(3) 板書計画（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「この様子は、どの時期のたんぽぽについての説明ですか」。中央は、時間の順序と様子を対応させた読みの記録に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」 (@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

